

# 希望へと続く道!!

## ～卒業生からの熱きメッセージ～

### 当たり前のこと

東京大学 理科一類 尾崎 亮平



在校生のみなさんこんにちは、寮生のみなさん久しぶり。ぼくはこの春一年の浪人の末、東大生になることができました。これから多くの受験時代を振り返りながらいくつか書きたいと思っています。

まずは勉強面についてです。といっても書くことはありふれたことです。学校を中心に授業をまじめに聞いて、演習を重ねることがぼくは大事だと思います。それは、きちんと教科書をマスターすれば入試において必要な知識は網羅されるようにできていますし、あとは演習で定石を学べばある程度問題がとけるからで

### 一番大事な事

東京大学 理科二類 西本 裕亮



真和のみなさん、こんにちは。ここでは受験生だったこの二年間を通して私が学んだことや知ったこと、その中で主に勉強への気持ちについてのことを書いていきたいと思っています。

「合格のために一番大事なことは？」と聞かれたとき、なんと答えますか。勉強の量、周りの環境、いろいろな答えがあると思います。

勉強しても第一志望に合格するのはだいたい半分以下になります。現役の時よりも点が悪くなる人もけっこういます。ですからみなさんは非現役で合格しましょう。

では次に、東京大学の理類志望の人へ、東大入試において点を取りやすいといわれる教科と取りにくいといわれる教科というものがああります。前者は理科と英語、後者は国語と数学です。なので理科と英語である程度の点をとることで合格に大きく近づくとはいえます。そして数学については、入試の合格を最終的に決めるのは、数学だといわれています。その理由は、単純で、圧倒的な配点の大ききのせいです。一問で順位が一〇〇番は変わるといえます。合格点は毎年だいたい二次で二三〇点ぐらいで足切りはだいたい八割です。入試の日はテレビ局がいつぱい来ます。二次の当日はキットカットを大量にもらえます。

最後にになりましたが、ぼくはこれまでたくさんの方にお世話になりました。集団生活のたのしき、規則を守ることの大切さ、人の上立つことの大変さを教えてくれた寮監の先生方や食事の管理をしてくださった食堂の方々、優しく、ときには厳しく指導してくださった高校の先生方、毎日過ごした同級生のみなさん、最後まで励まし続けてくれた寮生のみなさん、そしてぼくが今まで浪人させてくれた両親に感謝しています。いまのぼくがあるのはみなさんのおかげです。ほんとうにありがとうございます。



### 私の受験生活

広島大学 生物生産学部 生物生産学科 嶋 大磯



この文章はアドバイスというよりも私の受験生活を書こうと思うので、何か参考になれば幸いです。作文は本当に苦手なので読みにくいところもあると思いますが、依頼を受けたので頑張っ書いてみました。

受験を意識し始めて勉強していたのは、だいたい三年生になってからなのでその頃の過ごし方を書きます。まず授業です。文系教科は先生の話をすべて聞くようにして、暗記系は書いて覚えるつもりでノートを

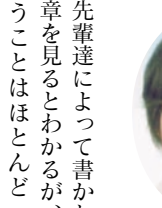
次に休み時間や放課後ですが、分からない事があつたときは、先生よりも友達に訊いていました。その時は黒板を使って問題を解いていました。皆さんも自己管理ができるなら携帯電話は使っても受験には何ら問題はないと思います。

これからの受験生活を過ごす皆さんに伝えたいことはいえ、結局は自分自身の自覚です。受験も佳境に近づくとつれ、何かと不安になつたりしますが、私は塾に行かず勉強しました。先生方は受験のために考えられた授業や課外をしてくださいます。それらを軽視することなく強い決意で精進すれば充分だと思っています。

最後に、今の私があるのは高校生活の中で、すばらしい友との出会いです。本当に感謝しています。有難うございました。

### 浪人生の実態

熊本大学 医学部 中原 志乃



先輩達によって書かれた文章を見るとわかるが、皆言うことはほとんど一緒だ。結局、誰がどんな勉強をして受かるうとも、受験の本質は変わらない。その本質は変わらぬ。去年受かった友人は言っていた。きっとほかの人が受験の本質については語ってくれたらうから、勉強法だけ分かればいい人はどうぞ他の文章をじっくり読んでほしいと思います。

今回はこのような文章を書く機会を与えていただき、ありがとうございます。そこで、皆が語ろうとしないことをあえて言ってみようと思う。浪人生。それは現役時代の想像をはるかに超え

大きなアドバンテージである。友人の不在は、気力の低下を招く。気力が下がれば、勉強の効率も落ちる。以上のことから、浪人生活を生き抜くためには、強靱な精神力と強固な目的意識が必要であるとわかるが、全員がこの能力を活用しているとは言い難い。途中で消えていく浪人生の数は少なくない。心が負けてそうなるくらいなら、最初から浪人などしなくてよい。

どうしても浪人しなくてはならないのなら、この大に絶対合格するという信念をもつことだ。そのような信念があれば、きっと浪人生活を乗り越えられるだろう。最後まで諦めてはならない。

浪人したいなら、私は止めない。結局乗り越えられないかどうかはあなた次第だ。私は二度とやりたくない。現役で受かるのが一番だ。



### 学問への姿勢

宮崎大学 医学部 北村 彩



皆さん、こんにちは。チャンスをものにして何とか推薦で合格することができ、学校の先生方、同級生、そして家族に言い尽くせないほどの感謝を感じています。さて、私が皆さんに伝えたいこと、それは「姿勢」です。普段と試験直前とに分けて言います。普段の勉強で大事なのはやる気と好奇心だと思います。好奇心とは、物事を知りたいという欲求です。自分の目の前に教科書を置いた時ため息が出てしまう人は思い出しみてくださいますか？私には新しい事を見つけた時、顕微鏡でものを見たような気持ちになります。自分の目の前にもあるものが詳しく見えてきたときの興奮。肉眼で見えていない世界とはまるで違う世界にわくわくしませんか？それが好奇心だと思います。しかし、

### イスの上にも一年

上智大学 文学部 史学科 鶴川 健友



予め言っておきますと、私は真和の時代に理系教科と英語でつまづき、高校卒業まで目の目を見ぬままに底辺で焦っていました。その事を皆さんに知って頂いた上で、以前の私の様な状況にいらっしゃる方に大いに勇気付けられるようにと願って書き始める事とします。高二の時、進路を決めるに当たって、東京で勉強がしたかった事と、元来の理数オチが念頭にあったので、都内有名私立大学に照準を合わせました。高三の時点で国語と日本史の偏差値は六〇〇七〇あったのですが、英語の三十五が致命傷となり、全ての受験校に落ちました。とうとう浪人

かしそこにてくくるのが数式や方程式です。ウエツト思った人、よく考えてみて下さい。それらは、私たちの思い込みを全くはさむ余地のないシンプルで素敵なものです。正しく使えばの話ですが、ですから勉強の苦手な人は余計な御世話だとは思いますが少し考えを変えてみて下さい。きつと違う世界が待っています。続いて大事なのがやる気です。私もこれを出すのに苦労しました。受験勉強の大半が学校の授業です。そこで大事なのが教科書に書いてあることを伝えるために先生が何を言わんとしているのかを必死に読み取るうと努力することです。そうすると自然と先生を凝視することになり、しばらくすると先生と見つめ合うと

トも、全て初級編から始めました。そして最終的には超級編まで叩き上げました。ちなみに、この期間に私の運命を変えてくれた先生との出会いがありました。この出会いが無かったならば、上智どころか去年の第一志望であった学習院にすら遠く及ばなかったでしょう。

生活という苦界に身を沈める事となったのです。悲しむ間も無く、N先生が推しておられた「南城館予備校」へ通い始めました。ここは小さな塾でしたが、私の性に合っていました。予備校の大小に関係無く、自分に合った場所であれば、自分を尽くす事が一番大切なのではないかと思えます。予備校生活が始まり、私は他の塾生の追従を許さない位に勉強に励みました。完成に近かった国語と日本史は放っておき、とにかく英語をがむしゃらに勉強しました。英語は中学英文法からのスタートでした。偏差値が五〇以下なら、まずここから始める事をおすすめします。単語帳も長文のテキスト

いう格好になるのです。気が抜けませんね(笑)。そして気がつくまで授業が終わっているのです。そういう方法で私は授業を受けているんだという実感がわきやる気も出てきました。もともと人それぞれなんですけどね。先生たちがよくおっしゃる継続力や素直さなどはこの二つがそろえば必ず身に付いてくるものではないかと私は思っています。さあ今度は試験直前についていいます。やっぱり一番大事。どんなに頑張ってもここぞという時に力を出せなければ意味がなくなってしまう。小学生の時から大学合格を一つのゴールとして頑張ってきた人は多いと思います。その十二年間をぶつけるつも

### 合格への道程

熊本大学 法学部 國岡 万聖



番号を見つけた時、合格が分かるまで不安だった自分は少しほっとした気持ちになりました。一年にも及んだ受験勉強がやっと実を結んだ瞬間でした。好きな教科、嫌いな教科の差が激しかった自分は、二年生の時に少しでも苦手教科を得意教科にしようと思えなかった。不安要素が多かった。数学に手をつけました。三年生になると、地歴・公民・理科に取り組むことが多くなり、その度に新しいことを覚えていかなければならなかった。苦手な教科の克服に時間を割くことがあまりできないのです。また、特に、国語・数学・英



### 受験を経験して伝えたいこと

東北大学 工学部 藤沢 拓弥



真和の皆さん、こんにちは。このような文章を書くのは、初めてなので、うまく伝わらないかもしれませぬが、参考にしていただければ幸いです。僕が受験を経験して思ったことをいくつかに絞って、書きたいとおもいます。●志望校を高く設定。自分は本格的に勉強を始めるにあたって、志望校を東北大学か某大学の二校に志望校を設定した。志望校

を自分の実力より高く設定したことで、自分の実力と志望校のレベルの差を常に自覚でき、最後まで一生懸命勉強することができた。そういう面で志望校は高く設定することを勧めます。●センターを終えて。センター試験を無事？に終え、翌日に自己採点をし、合計点を出してみると、目標点よりも遥か下の点数でした。取りあえずセンターリサーチの結果で受験する大学を決めることにしました。リサーチの結果

に覚えた単語を復習し、これを繰り返していく方法です。最初は自信があまり無かった単語力もこの方法で強固なものとなり、テストの成績が少し上がりました。二次試験もセンター試験も基礎は欠かせませんが、もう一つ大切なのが問題に対する慣れです。試験に出題傾向が変わることには珍しくありません。そのため失敗し、それが命取りになることだってあるのです。慣れさせれば、問題への不安が軽減され、落ち着いて解くことができるでしょう。最後に、真和高校でお世話になった先生方や部活動の皆さん、同級生の皆さんには心から感謝していただきます。ありがとうございました。また、昨年亡くなられたT先生には、二年生の時に、数学を丁寧に教えて頂き、そのおかげで数学が得意になりました。とても楽しい授業をありがとうございました。

なった時に短時間の睡眠で勉強をやってみました。体力的にきつくて一ヶ月も続きませんでした。思い返せば、深夜に勉強をしているつもりでしたが、眠くてあまり身になっていなかったような気がします。しかし絶対的に時間は足りなかった。僕は起きている時間を最大限に活用するために、短い休み時間は、英語や古文単語、昼休みは、質問に行ったり、数学の問題を解いたり、英作文の添削をもらったりしていました。



### 支えに感謝

熊本大学 医学部保健学科 河田 里実



皆さんこんにちは。私のような者が本当に真和通信に文章を載せていただいていいのかもしれないと、下手ながらも一所懸命に書くので最後まで読んでいただくと幸いです。

では早速ですが私の勉強法についてお話しします。在校生の皆さん、特に新高三生の中には部活をやめて勉強に集中しようとか、塾にいこうとかか考えている人もいます。私の場合は剣道部に所属していましたが、剣道をおして私が学んだことは礼儀や忍耐を始

### みんなのおかげで合格!!

熊本大学 医学部 中村 菜摘



私は一年間の浪人の後、熊本大学医学部に合格することができました。今回在校生の皆さんへのメッセージを書かせて頂くことになり、とても光栄に思います。私は中学校の頃から吹奏楽部だったので部活と勉強とを両立することの長所や、勉強のやり方など、皆さんにお伝えしたいことは多々ありますが、今回は浪人したからこそ伝えられると思うことを書かせて頂きます。

め数えきれないほど多くありますがその中で私が得たものは壁を乗り越える力でした。この力は全ての部活共通で得られるものだと思います。受験勉強には壁がつきものです。最後までやり遂げてこそ得られるこの力を無駄にするのはもったいないと思いませんか。ぜひ最後まで続けて受験の土台にしてください。

さて次に塾についてですが、言いたい事はただ一つ、真和の先生を信じてくださいということ。私は塾を否定しません。しかしせっかく高い授業料を親が払ってくれているのですから学校を利用しつくさな

い手はないと思いません。私は文系に属しながらも志望校は理系だったので物理は独学でした。その時に役にたったのがサテライトです。分かりやすいうえに冷暖房完備のサテライト室。素晴らしい環境です。また他の教科も職員室に行けば先生方がいつでも質問に答えてくださいます。先生方も親しくなれて一石二鳥です。だからもし職員室には行きづらいと思っていれば、もしも入試で今からならこの問題がでたら恐ろしいですか？一度勇気をだして行ってみてください。合格への第一歩です。

話を戻しますが、私はもちろん塾には行っていません。時間の節約のためです。私は遠方から一時間半かけて通学していました。だから高二の途中から始めた学校での七時半からの勉強のため毎朝五時半起きで

した。だから、睡眠時間確保のために電車では英単語や古文単語をし、無駄な時間を減らすように心がけていた私にとっては通塾する時間には惜しいものでした。それよりも学校の休み時間や家でのトイレの時間を利用したほうが何よりもリラックスでき時間を有効利用できると思います。受験は時間との戦いなので、焦ってしまっても一分一秒無駄にしないように自分にあつた時間のペースを見つけてください。

入試は高校三年間の集大成です。合格したからこそ言えるのですが、私は二次試験に失敗し卒業式どころではありませんでした。不合格だと思ひ毎日泣いていました。だから皆さんには心の余裕を持って晴れの卒業式に臨んで欲しいです。そのために三年間学んできたことを誇れるようにしっかりと勉強して、後悔だけはしないでください。努力

は人を裏切りません。最後になりましたが、毎朝お弁当を作ってくれた母、陰ながら支えてくれた父や兄、親戚の皆さん、全力で応援してくださいましたM先生や剣道部の皆さん、そして先生方。考え出すときりがありませんが、私が受験を乗り越えられたのも皆さんののおかげです。本当にありがとうございます。私はいくつかの病気があり、今思えば、自分の病気がきっかけでこの道を進んでいるので、今では病気に感謝していますが、それでも健康な学校生活を送ってくださいます。最後まで読んでいただきありがとうございます。

### 真和に感謝

熊本大学 理学部 村山 香織



真和の皆さん、こんにちは。この真和通信に寄稿する機会を頂き、とても光栄に思っております。私自身の真和高校での三年間を振り返りながら、受験の思い出などを書こうと思いましたが、私の文章を読んで、少しでも多くの人が「これから真和で頑張るぞ!」という気持ちになっただけだと幸いです。

私は、多くの人が受ける一般入試ではなく推薦入試Iという入学試験で志望大学に合格しました。推薦入試って何のことか?という人もいると思います。私自身も一年生の後半頃までその存在をよく知らず、十二月に先輩の合格者張り出しを見て、「こんなに早く決まる試験があるのか!」と知ったのが最初でした。それから、自分が志望する大学にも推薦試験があるのか調べ、こんな機会があるのなら挑戦してみようと思ふに至ったのです。私が受験した熊本大学理学部の推薦入試では、高校三年間の成績と小論文試験、そして面接試験の結果を総合して合格者が発表されるものでした。面接試験、小論文試験は数学、理科に関する問題が出され、自分が得意な方面から解答することができ、そのため、三年生の夏休み頃から推薦入試を受験することも踏まえて、生物部顧問のK先生から生物に関する多くの本を貸して頂き、知識を増やして頂きました。けれども国公立大学の推薦入試は倍率が高く、合格する保証は決して

最後になりましたが、私を支えてくれた家族に、応援してくれた友達に、見守って下さった先生方に、それから、努力する姿勢・物事の捉え方・自分で創造する楽しさなど多くのことを教えて下さった吹奏楽部に、感謝の気持ちで一杯です。稚拙な文章でしたが、少しでも皆さんにとって役に立てば幸いです。在校生の皆さんのご健闘を心より祈っております。

ないもので、もしも落ちてしまったら一般入試を受けることも頭において普段通りの勉強も続けていました。そして推薦入試を受験することが確定してから入試本番までは生物の担当の先生方のお力添えを頂き、面接の対策などをしていたことができました。そのお陰で、私は推薦入試で合格することができました。

私はこの三年間、担任のK先生をはじめとする真和の先生方を信じて、精一杯頑張ってきました。今思えば、本当に先生方のおっしゃることを信じ、ついて行って正解だったなと思います。私が志望大学に合格することができたのも先生方のお陰だと確信しております。これから、真和で学び成長していく後輩の皆さんも、担任の先生、各担当の先生方を信じて、頑張ってください。本当に真和の先生方は、親身になって生徒の面倒を見てくださいます。信じてついていくことで、道は必ず開けると思っています。

最後になりますが、この三年間担任をして下さったK先生をはじめとする真和の先生方、そして生物部顧問として支えて下さったK先生、本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

